



平成 26 年度  
(2014 年度)  
**私費外国人留学生入試**  
**学生募集要項**

横浜国立大学理工学部

平成 25 年 11 月

## 目次

私費外国人留学生入試日程の概要	1
横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	2
1. 募集人員	6
2. 出願資格	6
3. 出願手続	7
4. 出願にあたっての注意事項	9
5. 入学検定料	9
6. 入学者選抜方法	10
7. 試験期日及び試験場	10
8. 合格発表	10
9. 入学手続	10
10. 障害等のある入学志願者の事前相談について	11
11. 個人情報の取り扱いについて	12
12. 入学料および授業料の免除・徴収猶予制度について	13
13. 学生の居住施設について	15
交通案内図	17
キャンパス案内図	18

### < 添付書類 >

この要項には、下記の本学所定の書類等が添付されています。

1. 出願書類等送付内訳書
2. 志願票
3. 受験票・写真票
4. 「振替払込受付証明書（お客さま用）」貼付用紙
5. 入学検定料払込取扱票（検定料 17,000 円）
6. 返信用封筒（速達長形 3 号）
7. 住所・氏名記入用紙（シール）
8. 出願書類送付用封筒（書留速達角形 2 号）

# 私費外国人留学生入試日程の概要

出願期間：平成26年(2014年)1月20日(月)～24日(金)

窓口受付時間  
【9:00～12:00、14:00～16:00】

郵送受付 24日必着  
【日本国内在住している志願者に限る】

試験期日：平成26年(2014年)2月25日(火)～26日(水)

合格発表：平成26年(2014年)3月7日(金)13時頃

入学手続：平成26年(2014年)3月13日(木)～17日(月)

入学式：平成26年(2014年)4月3日(木)

# 横浜国立大学入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

## 横浜国立大学では、社会に貢献できる意欲的な学生を求めます

### 真の実力を得たい！

社会においてリーダー的存在になる真の実力を得たい人

### 洞察力を磨きたい！

科学的探求心を尊重し、チャレンジ精神に基づく研究・創造の場を通して、深い知識と洞察力を獲得したい人

### 世界の舞台で活躍したい！

国際性溢れる環境の中で、外国人学生と共にコミュニケーション能力を高め、世界に発信・飛躍したい人

### 高度な専門知識で社会に貢献したい！

大学院に進学し、さらに高度な専門的知識を身につけ、専門的な職種や職業で社会に貢献したい人

自然に恵まれた常盤台キャンパスで学問を学び、世界中からの友と語らいつつ、柔軟な発想と総合的・創造的な課題探求・解決能力を身につけ、社会の中核となってグローバルな共生社会に貢献したいと思う人を求めています。

### 【横浜国立大学学士課程の教育目標】

横浜国立大学の4つの精神 - 実践性・先進性・開放性・国際性 - を踏まえて、本学は大学全体としての学士教育の更なる充実に向けた教育目標を定め、学内の各組織はそれぞれが担うべき学士課程の教育目標および育成人材像を明確にして、体系的な教育を実施します。

- (1) 学芸・諸科学に関する豊かな知的資産を学び、それらを活かす高度な実践的能力を備え、社会の中核となって活躍できる人材を育成する。
- (2) 研究成果に基づく教育を通して、豊かな知性・感性を養うとともに諸課題を解決に導く思考力や判断力を磨く。
- (3) 社会・文化・自然の多様性を尊重しつつ国や社会を超えて多様な人々と交流し、共生社会の実現を図る高いコミュニケーション能力を養う。
- (4) 高い倫理観を養いつつ積極的に課題を探求し、解決する強い意欲や責任感を高める。

本学の詳細な教育目標・方針については、本学 WEB サイトに掲載の『「学士力」を磨く YNU initiative』をご覧ください。

## 理工学部の入学者受入方針

理工学部では、理工学の学びを通して実践的「知」を身につけたい意欲的な学生を求めます。

自然科学の真理探究や独創的なもの作りを通して、自ら成長・発展しようとする人  
何ごとにも旺盛な好奇心を持ち、失敗をおそれない、チャレンジ精神にあふれている人  
新しい時代に対応できる理工系のセンスと国際的な視野を磨こうとする人  
胸がときめくようなアイデアを確かな知識と技術で実現しようとする人  
我が国が世界から信頼される存在となるよう、自分の仕事を通じて貢献したいと願う人

### 【理工学部の教育目標】

地球規模の環境問題など社会の要請を把握し、自然科学の真理を追究し、産業を発展させ、輝ける未来を切り開くために研究者・技術者の果たすべき役割はより大きくなっています。実践的学術の国際拠点を目指す本学・理工学部では、自らの専門分野における専門能力と高い倫理性を持ち、広く科学技術に目を向ける進取の精神に富む人材育成を目的とします。

## 学科及び教育プログラムの入学者受入方針

### 機械工学・材料系学科

機械工学または材料工学に興味を持ち、それらを用いて環境に調和した心豊かな社会を構築することに貢献したい人を求めます。自由と責任を有する大人としての自律性と、基盤となる数学・物理・化学の基礎的能力とを持ち、大学において自らの能力を高めようとする意欲を持つ人を求めます。

#### <機械工学教育プログラム>

- ・現代の快適で安全な社会を支える自動車、航空機、ロボット、エネルギー機器、福祉・医療機器などの各種機械や、そのシステムに興味を持つ人
- ・未来社会を担う革新的な機械を創り出したい人、また人類が抱えるエネルギー・環境などの諸問題を新しい技術により解決したい人

#### <材料工学教育プログラム>

- ・物理や化学に基づいた、材料の様々な性質を生み出す仕組みの解明に興味のある人
- ・材料工学に強い関心を持ち、新材料や新規機器の開発分野で活躍したいと希望する人

### 化学・生命系学科

自然の真理追究・ものづくり・エネルギー・環境・安全・生命に関心を抱き、自然科学を真摯に学ぼうとする熱意とそれに相応しい素養を持ち、豊かな 21 世紀における人間社会の構築を目指したいと考えている人を求めます。

向学心に燃え、また発想が豊かで柔軟性のある応用力を発揮できる人を求めます。

### <化学教育プログラム>

化学の基本知識を中心に据え、あらゆる自然科学の知識を活用して物質の世界の真理を原子や分子レベルから探求する科学研究者、および最先端化学とその利用に関わる科学技術者を指す人

### <化学応用教育プログラム>

化学の基本知識を応用し、物理を活用して、高度な化学反応プロセスや先端材料、新エネルギー材料の開発、実践的な安全管理や環境創出といった未来社会への課題解決に貢献できる技術者・研究者を指す人

### <バイオ教育プログラム>

生物学、化学、物理学に立脚した現代生物学の方法を通して生命を理解し、その成果を食料問題や生命・医療などのグローバルセキュリティ課題の解決に応用できる技術者・研究者を指す人

## 建築都市・環境系学科

建築から、都市、地域生態系、海洋、地球、宇宙へと広がる人々が暮らし活動する空間とその環境に興味を抱き、創造性、自発性、探究心、行動力にあふれた人を求めます。

### <建築教育プログラム>

- ・ 建築の思想や芸術から工学まで、建築に関して幅広く学び、未だに存在しない空間や建築を都市の中に構想できるような建築家になりたい人
- ・ 自然災害に強く安全な建築や街づくりに貢献したいと願い、そこに集い住まう人たちの生命と財産を守ることができる建築構造エンジニアや建築構造デザイナーになりたい人
- ・ 自然と調和した住空間のデザインを身につけ、地球環境との均衡を保ちつつ人々の健康で快適な生活を実現できる建築環境設備エンジニアになりたい人
- ・ 都市の歴史的変遷や成り立ちを知り、未来社会に向けた持続可能な新しい街づくりを実践できる都市計画プランナーや都市デザイナーになりたい人

### <都市基盤教育プログラム>

- ・ 自然環境との調和や共生など地球的観点にたつてより良い都市や国土の創造に興味がある人
- ・ シビルエンジニアとして、社会基盤の整備、維持管理、運用を通して、都市や社会生活を豊かにしたい人
- ・ 発展途上国の社会基盤整備や地球規模の環境保全を通して、国際的に活躍したい人

### <海洋空間のシステムデザイン教育プログラム>

- ・ 環境と調和しつつ世界中を駆けめぐる“未来型の船舶や航空機”、世界中に潜在する海洋エネルギーや海底資源の利用を推進するための“斬新な海洋構造物”の設計エンジニアになりたい人
- ・ 海洋から大気圏さらに宇宙を活躍の場とする“船舶、航空機、人工衛星の運用”の最適化を通して、人や物資の流れを作り、世界を一つにすることを指したい人

### <地球生態学教育プログラム>

身近な自然や、生物多様性、地球温暖化などに興味を持っていて、以下のような進路をめざす人を求めます。

- ・ 科学者や技術者、社会のリーダーとして地域の自然環境問題の科学的な解決を目指そうとする人
- ・ 研究者として環境科学や関連する自然科学を発展させたり、高等学校理科教員として自然についての知識を次世代に伝えたいと考えている人

## **数物・電子情報系学科**

数学、物理の基本原理を深く理解し、新しい創造的な科学や技術を創出しようとする気概があって、理工学の諸分野で国内外を問わず幅広く活躍して豊かな未来を作り出そうという意欲に満ちあふれた人を求めます。また、数学、物理、光や電気・電子、情報について強い関心や高い能力を持つ人を求めます。

### **<数理科学教育プログラム>**

- ・現代の数学である数理科学を縦横に活用して社会に有為な人材になりたい人、また、将来、その発展に貢献することで国際的な活躍をしたい人
- ・数学と物理、コンピュータの活用に興味があり、コンピュータグラフィックス、コンピュータシミュレーション、画像処理、数理モデリングなどを用い、世の中の複雑な現象・問題を理解・解決したい人

### **<物理工学教育プログラム>**

- ・宇宙、素粒子、様々な物質系などの性質を物理学の手法を用いて探求することに関心のある人
- ・物理学を深く理解したうえで、工学の幅広い分野で常に原理に立ち返って新しい科学技術を生み出したい人

### **<電子情報システム教育プログラム>**

- ・電気、電子、通信、情報工学などに興味があり、これらの分野の研究者・技術者として、社会で役立つ実践力を身につけたい人
- ・高度情報化社会を支える新しい先端的技术を創り出すことを目指す人

### **<情報工学教育プログラム>**

- ・情報学・情報工学の基礎から応用までを身につけ、自ら先端的な情報理論・処理方式・システムを創造して社会に貢献する強い意欲をもった人
- ・人の優れた知能や能力をコンピュータ・機械で実現し、人を支援することで、人を中心とした豊かで安全・安心な未来社会を実現したいと考えている人

# 平成 26 年度(2014 年度)横浜国立大学理工学部 私費外国人留学生入試学生募集要項

## 1. 募集人員

学科	教育プログラム	募集人員
機械工学・材料系学科	機械工学教育プログラム	若干名
	材料工学教育プログラム	
化学・生命系学科	化学教育プログラム・化学応用教育プログラム	
	バイオ教育プログラム	
建築都市・環境系学科	建築教育プログラム	
	都市基盤教育プログラム	
	海洋空間のシステムデザイン教育プログラム	
	地球生態学教育プログラム	
数物・電子情報系学科	数理科学教育プログラム	
	物理工学教育プログラム	
	電子情報システム教育プログラム	
	情報工学教育プログラム	

(注1) 出願できるのは1つの学科・教育プログラムのみです。

(注2) 化学・生命系学科の化学教育プログラム及び化学応用教育プログラムは学生募集を一緒に行います。教育プログラムの決定は、第2学年進級時に本人の希望と科目履修状況等に基づいて行います。

## 2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者

### 【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成26年(2014年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの
- (2) 文部科学大臣の指定した者(国際バカロレア資格、アビトゥア資格(ドイツ)、バカロレア資格(フランス)のいずれかを有する者で平成26年(2014年)3月31日までに18歳に達するもの)

### 【要件】

次の(1)から(3)のすべてに該当する者

- (1) 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
- (2) 平成25年(2013年)6月又は11月実施の日本留学試験を受験し、かつ各学科で指定する次の要件(別表)を満たしている者
- (3) 平成24年(2012年)1月以降に実施されたTOEFL又はTOEICを受験した者



別表 < 日本留学試験等の受験を要する科目等 >          必修          選択

受験を要する 教科・科目等  学科名	日本留学試験										英語科目への対応	
	出題言語の指定		日本語	理科				数学				総合科目
	英語	日本語		物理	化学	生物	選択	コース1	コース2	どちらでも可		
			英語									日本語
機械工学・材料系学科												平成 24 年（2012 年） 1 月以降に実施された TOEFL または TOEIC を受験した者
化学・生命系学科						物理、生物 から 1 科目						
建築都市・環境系学科						物理、化学、 生物から 2 科目						
数物・電子情報系学科												

(注1) 日本国籍を有しない者であっても、日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この要項の選抜には該当しないので注意してください。ただし、【基礎資格】(2) に該当する者は出願できます。

(注2) 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。

(注3) TOEFL または TOEIC の成績証明書は出願書類と同時に提出しなければなりません。なお、TOEFL または TOEIC の成績証明書は受験してから交付までに相当期間を要するので、出願期間に留意のうえ、早めに準備してください。（出願期間内に必着です。）

(注4) 日本留学試験の成績通知書は、平成 25 年（2013 年）6 月又は 11 月実施分のいずれか一方の成績通知書を提出して下さい。

(注5) 日本留学試験については、下記へお問い合わせ下さい。

独立行政法人 日本学生支援機構（〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 TEL03-6407-7457）

### 3 . 出願手続

出願書類等に不備のあるもの及び出願期間後に到着したものは受理しませんので、交通事情や郵便事情等を十分考慮して早めに提出してください。

**出願期間：平成 26 年（2014 年）1 月 20 日（月）～ 24 日（金）**

#### (1) 郵送受付【日本国内に在住している志願者に限る】

必要書類を取り揃え、本学所定の出願書類送付用封筒を使用して、出願期間内に必着するように書留速達で郵送してください。

ただし、締切日【1 月 24 日（金）】を過ぎて到着した出願書類のうち、1 月 23 日（木）の発信局消印のある書留速達郵便に限り受理します。

**外国からの郵送については一切受け付けません。**

(2) 窓口受付【9:00～12:00、14:00～16:00】 **ただし、1 月 24 日（金）は 15:00 まで** 必要書類を取り揃え、**志願者本人**が理工学系大学院等入試係に直接出願書類を持参して出願期間内に提出してください。（代理人による出願は一切受理しません）

出願書類等

志願票	<p>本学所定の用紙に必要な事項を日本語で記入してください。 母国の住所・学歴・職歴は英語で記入しても構いません。</p>
受験票・写真票	<p>本学所定の用紙に必要な事項を記入し、出願日前3か月以内に撮影した上半身脱帽・正面向きで同一の写真(縦4cm×横3cm)を受験票・写真票の所定欄に貼付してください。 なお、写真の裏面に氏名を記入のうえ貼付してください。</p>
卒業(修了)証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校(日本の高等学校に相当する課程をいう。)の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込み証明書を提出してください。(コピー不可)</li> <li>・出願資格の【基礎資格】(2)により出願するものは、国際バカロレア等の資格証明書を提出してください。(コピー不可)</li> </ul>
成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校(日本の高等学校に相当する課程をいう。)の成績証明書を提出してください。(コピー不可)</li> <li>・出願資格の【基礎資格】(2)により出願するものは、国際バカロレア等の成績証明書を提出してください。(コピー不可)</li> </ul>
日本留学試験受験票	<p>平成25年(2013年)6月又は11月実施の日本留学試験の受験票及び成績通知書の写しを提出してください。(試験当日は、日本留学試験受験票の原本を必ず持参してください。)</p>
日本留学試験成績通知書	
TOEFL又はTOEICの成績証明書の本紙	<p>次のア・イのいずれかを提出してください。</p> <p><b>ア TOEFLの成績証明書を提出する場合</b> 平成24年(2012年)1月以降に実施されたTOEFLのスコアを試験実施機関 EDUCATIONAL TESTING SERVICE(ETS)から直接横浜国立大学に送付する手続きをしてください。横浜国立大学のコード番号は <b>0410</b> です。出願期間内に必着するよう早めに手続きをしてください。 なお、事情によりETSから直送が不可能の場合は、Examinee Score Report(原本)を窓口直接提出してください。(郵送による受付は行いません。) TOEFL-ITP(団体向けテスト)のスコアについては、受付できません。</p> <p><b>イ TOEICの成績証明書を提出する場合</b> 平成24年(2012年)1月以降に実施されたTOEICテストの受験結果「Official Score Certificate」(公式認定証)を提出してください。(ただし、ホームページからダウンロードしたものは受付できません。) IPテスト(団体特別受験制度)によるスコアレポート(個人成績表)は、受付できません。</p>
入学検定料	<p>払込金額 17,000円 払込方法等の詳細については、9ページ「5.入学検定料」を参照してください。</p>
受験許可書	<p>現在日本の大学に在籍している者は、在籍している大学長の受験許可書を提出してください。</p>
住民票記載事項証明書等又はパスポート	<p>現在日本国に在住している者は、市区町村の発行する「住民票の写し」又は「住民票記載事項証明書」を提出してください。 上記書類に必要な記載内容は、【氏名・生年月日・性別・現住所・国籍・在留資格・在留期間】です。 提出できない者は、窓口受付による出願となりますので、出願時にパスポート(コピー不可)を持参してください。</p>
返信用封筒	<p>本学所定の返信用封筒に360円切手を貼付し、住所・氏名を明記してください。(住所は日本国内に限ります。)</p>
住所・氏名記入用紙	<p>合格通知及び入学手続書類等の送付に使用するので、正確に記入してください。(住所は日本国内に限ります。)</p>

**英文以外の証明書は、自国の公的機関で証明した日本語訳又は英語訳を添付してください。**

出願書類を受理した者に対して、2月中旬頃「受験票」を郵送します。  
2月18日(火)までに到着しない場合は、理工学系大学院等入試係までお問い合わせください。

#### 4. 出願にあたっての注意事項

- (1) 志願票及び受験票・写真票等の 印の箇所は記入しないでください。
- (2) 複数の学科・教育プログラムを志望することはできません。
- (3) 志願票には、日本留学試験の受験番号を必ず記入してください。
- (4) 志願票連絡先の志願者「日本の住所」の欄には、大学からの通知が確実に届く宛先（日本国内に限る）を明記するとともに、郵便番号を〒の箇所に正確に記入してください。  
なお、電話番号が呼出しの場合は「呼出」と明記してください。また、出願後、「日本の住所」及び「電話番号」を変更した場合は、受験番号及び氏名を明記して、その旨を理工学系大学院等入試係に届け出てください。
- (5) 出願後の志望先及び書類内容の変更は認めません。出願にあたっては、提出書類に記入漏れや誤りがないか十分注意してください。
- (6) **出願書類等に不備がある場合は受理しません。**なお、受理された出願書類等は一切返却しません。
- (7) 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した際、入学許可を取り消すことがあります。

#### 5. 入学検定料

- (1) 入学検定料の払込について  
払込金額：17,000 円  
払込期間：出願期間に間に合うように払込んで下さい。  
払込場所：郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口（ATMは使用不可）  
なお、土曜、日曜・休日は払い込みができませんので注意してください。  
払込方法：  
ア. 本要項に同封の「払込取扱票」を使用し、各票のご依頼人は、志願者本人の氏名を記入してください。（志願票の氏名と照合します。）  
イ. 「振替払込請求書兼受領証」及び「振替払込受付証明書（お客さま用）」を郵便局・ゆうちょ銀行受付窓口から受け取る際には、必ず受付局の日附印を確認してください。  
ウ. 払込時に別途必要な払込手数料は志願者本人の負担となります。
- (2) 入学検定料の返還について  
払込済の入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還いたしません。  
入学検定料の返還請求ができるもの  
ア. 入学検定料を払い込んだが横浜国立大学理工学部私費外国人留学生試験に出願しなかった場合  
イ. 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合  
ウ. 出願書類等の不備により出願が受理されなかった場合  
返還する入学検定料の金額  
志願者の申し出により、17,000 円を返還します。  
返還請求の方法  
上記(2) のア、イに該当するものは、以下( 1 ) a~d の 4 項目を明記した入学検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず「振替払込受付証明書（お客さま用）」を添付して、横浜国立大学理工学系大学院等入試係( 2 )へ速やかに郵送してください。また、ウの場合は、出願書類返却時に様式を同送しますので、必要事項を記入のうえ提出してください。
  - 1 入学検定料返還請求願（様式は問わない）に記載する項目
    - a. 返還請求の理由 b. 氏名（ふりがな） c. 現住所 d. 連絡先電話番号
  - 2 送付先  
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5  
横浜国立大学理工学系大学院等入試係

## 6. 入学者選抜方法

本学が実施する個別学力検査、面接、日本留学試験成績、TOEFL 又は TOEIC の成績及び高等学校等の成績を総合して、選抜を行います。

## 7. 試験期日及び試験場

### (1) 個別学力検査等教科及び実施日

学科名	2月25日(火)		2月26日(水)	
	教科(科目)	時間	教科	集合時間
機械工学・材料系学科	数 学 (数 . . . 数A・B・C)	9:00~11:30	面 接	12:20
化学・生命系学科				
建築都市・環境系学科				
数物・電子情報系学科				

(注1) 必ず個別学力検査と面接試験の両方を受験してください。

(注2) 個別学力検査は、一般入試の前期日程と同一の問題を出題します。

(注3) 個別学力検査の教科・科目は次のように略して表記しています。

数学 数、数学 数、数学 数、  
数学A 数A、数学B 数B、数学C 数C

(注4) 数、数、数、及び数Aの出題範囲：全項目

数Bの出題項目：「数列」及び「ベクトル」

数Cの出題項目：「行列とその応用」、「式と曲線」

### (2) 個別学力検査等試験場

横浜国立大学理工学部(横浜市保土ヶ谷区常盤台79-5)

詳細は、受験票送付の際に通知します。

#### 注意

試験当日は、本学で交付する「私費外国人留学生入試受験票」及び「日本留学試験受験票」の両受験票を必ず持参してください。

## 8. 合格発表

平成26年(2014年)3月7日(金)13時頃

本学ホームページ(<http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)に合格者受験番号を掲載するとともに、合格者には合格通知書及び入学手続書類等を郵送します。

ホームページでの掲載期間は、合格発表日から概ね4日間程度とします。

携帯電話には対応していません。

電話による合否の問い合わせには一切応じません。

## 9. 入学手続

合格通知を受けた者は、郵送(書留速達)又は窓口受付により、以下の期間内(必着)に入学手続を行ってください。

### (1) 入学手続期間

平成26年(2014年)3月13日(木)~17日(月)(土日を除く)

【郵送受付】3月17日(月)17時必着 日本国内に在住している志願者に限る

【窓口受付】9:00~12:00、14:00~16:00 ただし、3月17日(月)は15:00まで

合格者には、合格通知書とともに入学手続書類等を送付します。入学手続の詳細は、同封の「入学手続について」で確認してください。

【入学手続き時に必要な費用】      【入学後に必要な費用】

入学料 282,000 円〔現行〕      授業料 半期分 267,900 円〔現行〕(年額 535,800 円)

注1. 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

注2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、新授業料を適用します。

注3. 入学手続き完了者が事情により入学辞退した場合、いかなる理由があっても入学料は返還できません。

(2) 入学手続きに関する留意事項

合格者が、期間内に入学手続きを完了しない場合は、入学辞退者として取扱い、これ以降の入学手続きを認めません。

上記(1)で入学手続きを完了した者が、特別な理由により入学を辞退する場合は、「入学辞退願」(任意様式)を平成 26 年(2014 年)3 月 31 日までに横浜国立大学学長に提出し、その許可を得た場合に限り認められます(平成 26 年(2014 年)4 月 1 日以降に「入学辞退願」を提出しても入学辞退は認められません)。

10. 障害等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず以下連絡先に事前に相談してください。

また、出願受付締切後の不慮の事故による負傷者についても、受験及び修学上で特別な配慮が必要となった場合は、その時点で速やかに申し出てください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

【申請方法及び連絡先】

(1) 申請は、様式例を参考に申請書を作成し、診断書または身体障害者手帳(写)、その他参考資料を添えて申請してください。

(2) 申請内容によっては対応に時間を要する場合もあるので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。

(3) 申請・連絡先

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

横浜国立大学理工学系大学院等入試係

電話番号 045-339-3821,3822

## 【参考】事前相談申請書様式例

(様式例) A4 判縦	平成 年 月 日
横浜国立大学長 殿	
	氏 名
	生年月日
	住 所
	電話番号
横浜国立大学に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。	
記	
1. 志望する学部・学科・教育プログラム・出願する入試名	
2. 障害等の種類、程度	
3. 受験に際して希望する配慮事項	
4. 入学後の修学に際して希望する配慮事項	
5. その他 (添付書類) 診断書または身体障害者手帳(写) その他参考資料	

### 11. 個人情報の取り扱いについて

個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「横浜国立大学の保有する個人情報の保護に関する規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、合格者への連絡業務(奨学金や保険等に係る福利厚生関係資料や入学後の行事等に関する資料の送付)入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。

調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。

それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

- (2) 上記(1)の各種業務での利用に当たっては、一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者(以下「受託業者」という。)において行うことがあります。

受託業者には、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

## 12. 入学料および授業料の免除・徴収猶予制度について

### (1) 入学料免除

#### 制度

入学する者のうち、次の対象者に該当する者の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額または半額が免除される制度です。

#### 対象者

入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という)が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等で、入学料の納入が著しく困難であると認められる者

(注1) 学資負担者は、同一世帯内であること。

(注2) 風水害等の災害とは、公的機関発行の「罹(被)災証明書」等がとれるもの。

#### 申請方法

申請書類の請求により、申請書類を取り寄せ、申請期間に提出してください。

#### 申請書類の請求

申請を希望する者は、申請期間に間に合うように、学生支援課窓口または郵便で申請書類を請求するか、または学生支援課ウェブサイトより書式をダウンロードしてください。

(申請には、所得等の事実を証明する書類等の添付書類が必要となります。)

申請期間 平成26年(2014年)3月13日(木)~17日(月)

(土日祝除く 9:00~12:45 / 13:45~17:00)

学務・国際部学生支援課の窓口へ直接、申請書類を持参してください。

### (2) 入学料徴収猶予

#### 制度

入学する者のうち、次の対象者のア.またはイ.のいずれかに該当する者の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収が猶予される制度です。(入学料を免除する制度ではありません。)

#### 対象者

ア. 経済的理由によって、納入期間に入学料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者

イ. 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という)が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合で、納入期間に入学料の納入が著しく困難であると認められる者

(注1) 学資負担者は、同一世帯内であること。

(注2) 風水害等の被害とは、公的機関発行の「罹(被)災証明書」等がとれるもの。

#### 申請方法

申請書類の請求により、申請書類を取り寄せ、申請期間に提出してください。

#### 申請書類の請求

申請を希望する者は、申請期間に間に合うように、学生支援課窓口または郵便で申請書類を請求するか、または学生支援課ウェブサイトより書式をダウンロードしてください。(申請には、所得等の事実を証明する書類等の添付書類が必要となります。)

申請期間 平成26年(2014年)3月13日(木)~17日(月)

(土日祝除く 9:00~12:45 / 13:45~17:00)

学務・国際部学生支援課の窓口へ直接、申請書類を持参してください。

### (3) 授業料の免除・徴収猶予

#### 制度

ア. 免除: 次の対象者のア.またはイ.のいずれかに該当する者の申請に基づき選考のうえ、学期ごとの授業料の全額または半額が免除される制度です。

イ. 徴収猶予: 次の対象者のア.またはイ.のいずれかに該当する者の申請に基づき選考のうえ、学期ごとの授業料の徴収が猶予される制度です。(授業料を免除する制度ではありません。)

対象者

ア. 経済的理由によって、授業料の納入が困難であり、かつ学業優秀と認められる者  
 イ. 入学前1年以内(在学学生は授業料納期前6ヶ月以内)において、本人の学資を主として負担している者(以下「学資負担者」という)が死亡し、または本人もしくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等で、授業料の納入が著しく困難であると認められる者

(注1) 学資負担者は、同一世帯内であること。

(注2) 風水害等の被害とは、公的機関発行の「罹(被)災証明書」等がとれるもの。

申請方法

申請書類の請求により、申請書類を取り寄せ、申請期間に提出してください。

申請書類の請求

申請を希望する者は、申請期間に間に合うように、学生支援課窓口または郵便で申請書類を請求するか、または学生支援課ウェブサイトより書式をダウンロードしてください。

(申請には、所得等の事実を証明する書類等の添付書類が必要となります。申請期間は合格発表後から4月上旬を予定しています。)

申請期間

入学手続期間から平成26年(2014年)4月初旬を予定しています。詳しい日程は申請書類を参照ください。

入学料 / 授業料免除・徴収猶予申請書類請求先 および 問い合わせ先			
住 所	〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8 横浜国立大学 学務・国際部学生支援課 経済支援係 授業料免除等申請書類請求宛		
T E L	0 4 5 - 3 3 9 - 3 1 1 3	M A I L	gakusei.keizai@ynu.ac.jp
窓口時間	平日 9:00~12:45 / 13:45~17:00		
W E B サイト	http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp		
郵送による申請書類の請求について			
送付物 (折りたたみ可)	<p>送り状(様式自由。下記の事項が記載されたものを各自作成してください。)</p> <p>(1) 氏名</p> <p>(2) 学部名 入学予定の学部名を記入してください。</p> <p>(3) 受験番号</p> <p>(4) 住所</p> <p>(5) 電話番号 携帯電話でも可。連絡のつく番号にしてください。</p> <p>(6) 日本人用 または 留学生用 日本人用と留学生用で送る書類が異なります。 外国人学生でビザが「永住者」「定住者」の者は「日本人用」になります。</p> <p>返信用封筒</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 返信先の郵便番号・住所・氏名 を明記</li> <li>・ 角型2号封筒(24cm × 33cm)使用のこと</li> <li>・ 200円分の切手(速達希望の場合は、470円分)を貼付すること</li> </ul> <p>「送り状」と「返信用封筒」を「封筒(サイズ自由)」に同封し、申請書類請求先住所まで郵送してください。届き次第、「返信用封筒」に「申請書類一式」を入れて返送いたします。</p>		



### 13. 学生の居住施設について

本学には、常盤台キャンパスに隣接した日本人学生・外国人留学生混住の峰沢国際交流会館、横浜から約20分の弘明寺地区にある外国人留学生のための留学生会館、同じく弘明寺地区にあり民間会社が運営する日本人学生・外国人留学生混住の大岡インターナショナルレジデンスの3つの学生寮があります。

#### (1) 学生寮について

##### 峰沢国際交流会館【日本人学生・外国人留学生用】

キャンパス至近の自然環境に恵まれた地に、峰沢国際交流会館があります。この会館は、日本人学生と外国人留学生とが起居を共にし、その体験的な国際交流を通じて相互理解を深め、国際化の進展に対応した主体的な人間形成を図ることを目的として建設された学生寮で、日本人学生222名、外国人留学生111名が居住できる施設です。

会館には、居住棟A棟(男子：1～3階94室、女子：4階27室)、B棟(男子寮、5階建、140室)、C棟(女子寮、3階建、72室)と共用棟(3階建)があります。

居住棟	居室	全室個室(12㎡)、ユニット型洗面・トイレ、エアコン、ベッド、机、椅子、ロッカー、呼出しチャイム、電話端子、テレビ共聴アンテナ端子
	共通施設	補食室(流し台、コンロ、食器棚、瞬間湯沸器、電子レンジ、冷蔵庫)、シャワー室、郵便受け、自動販売機
共用棟	1階	スポーツ交流室、男子洗濯室、女子洗濯室
	2階	事務室、ホール
	3階	交流会議室、ラウンジ、ホール

ア 入居資格：原則として平成26年(2014年)4月に入学する学部及び大学院の日本人学生及び外国人留学生です。

ただし、すでに本会館に2年間(留学生は1年間)入居した者は除きます。

イ 入居期間：本会館に入居できる期間は、2年(留学生は1年)以内です。

ウ 入居者の選考・決定：地理的状況(通学所要時間2時間以上)及び経済的状況が本学入居基準を満たす者の中から抽選により選考します。

また、入居者の決定発表は、試験区分ごとの合格発表後に行います。

ただし、留学生については外国人留学生用の募集要項を参照してください。

エ 入居者の経費負担：寄宿料等は、次のとおりです。寄宿料・共益費の金額は、改定する場合があります。

また、入居者が使用する電気、水道、ガス等の料金を別途負担いただきます。

	寄宿料	共益費	合計
単身室	5,700円	4,000円	9,700円

##### 留学生会館【外国人留学生用】

1981年に開館した外国人留学生専用の寮です。大学への通学は1時間ほどかかりますが、最寄り駅や商店街に近く、横浜の中心にもアクセスしやすい立地です。

会館は3階建てで、単身室128室、夫婦室10室、家族室10室があります。

居住棟	居室	全室個室、ユニットバス・トイレ、ベッド、机、椅子、洋服ダンス、エアコン、本棚、台所、デスクライト
	共用部分	談話室、会議室、和室、学習室、図書室、洗濯室、飲み物自販機コーナー、公衆電話
	管理部分	館長・主事室、事務室、管理人室(管理人常駐)

ア 入居資格：平成26年(2014年)4月に本学の学部・大学院に入学及び在籍する外国人留学生  
ただし、本会館に1年間入居した者は除きます。

イ 入居期間：本会館に入居できる期間は、半年または1年以内です。

ウ 入居者の選考・決定：応募者多数の場合は抽選を行います。

エ 入居者の経費負担：寄宿料等は、次のとおりです。寄宿料・共益費の金額は、改定する場合があります。

また、入居者が使用する電気料金を別途負担いただきます。

	寄宿料	共益費	合計
家族室	11,900円	15,400円	27,300円
夫婦室	9,500円	14,000円	23,500円
単身室	5,900円	8,900円	14,800円

## の学生寮申請について

### 募集要項配付：平成26年（2014年）1月6日（月）～2月14日（金）

学務・国際部 学生支援課窓口（学生センター2階）または郵送で配付します。

外国人でビザが「永住者」「定住者」は「日本人用」です。

外国人留学生用は学生支援課ウェブサイトからダウンロードが可能です。

（<http://www.gakuseisupport.ynu.ac.jp/dormitory/>）配付期間のみ

《募集要項の郵便請求》（日本人学生）

郵送を希望する場合は、封筒の表に「峰沢国際交流会館入居者募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒  
[郵便番号・住所・氏名を明記し、140円切手を貼付した角2(240mm×332mm)]及び本人の氏名、住所、  
電話番号、メールアドレスを記載したメモを同封して、以下の担当宛に請求してください。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-8

横浜国立大学 学務・国際部学生支援課 学生支援係【学生寮担当】宛

TEL：045-339-3190

### 申請期間：平成26年（2014年）2月12日（水）～20日（木）

募集要項に基づいて、上記の期間内に手続きしてください。

**出願・合格発表以前でも、期間内に申請してください。**

日本人学生の出願はすべて郵送とし、最終日17時必着です。

ただし、2月19日（水）までの発信局消印のある速達郵便に限り、期間後到着した場合でも受理します。

外国人留学生は窓口受付または郵送により手続きしてください。

### 大岡インターナショナルレジデンス【日本人学生・外国人留学生用】

2010年9月、弘明寺地区に入居者同士の国際交流を活性化をテーマとして開館した新しい寮です。

レジデンスは6階建てで、日本人学生・外国人留学生の居室は原則単身室のみで252室あります。

なお、他の寮と違い運営は民間会社が行っており、空き状況の確認、入居申請や賃貸借契約などは学生と民間会社の間で直接やりとりしていただくことになります。

【募集要項の配付・申請期間】居室の空き状況に応じて募集を行います。

募集の有無や募集要項の配付、申請期間については以下のホームページでお確かめください。

（<http://www.int-residence.jp/e-guide/>）

【問 い 合 わ せ 先】大岡インターナショナルレジデンス管理事務所 0120-948-790

居住棟	居室	全室個室（12.5㎡）、洗面台・トイレ、ベッド、デスク、イス、照明、冷蔵庫、エアコン、オートロック
	共通施設	日勤管理人、エレベーター、コインランドリー、各階シャワールーム、1階コンビニ、カルチャーホール、各階キッチンラウンジ、エントランスオートロック

ア 入 居 資 格：本学に在籍する学生（4月入学者の場合、原則入学許可書をもって本学の学生と見なします）

イ 入 居 期 間：2年（外国人留学生のみ更新可）

ウ 入居者の選考・決定：応募者多数の場合は抽選を行うことがあります。

エ 入居者の経費負担：寄宿料等は、次のとおりです。 寄宿料・管理費等の金額は、改定する場合があります。

入居時一時金	寄宿料	管理費	合計
52,500円	33,000円	8,000円	41,000円

## （2）下宿・アパート等について

民間の下宿・アパート等を希望している者（峰沢国際交流会館等の入居選考から外れた者を含む）のために、「横浜国立大学生協同組合」が環境・通学距離等を考慮して、学生生活に適した物件を紹介しています。資料の請求方法等については、横浜国立大学生協同組合に直接問い合わせてください。

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台79-10 横浜国立大学生協同組合

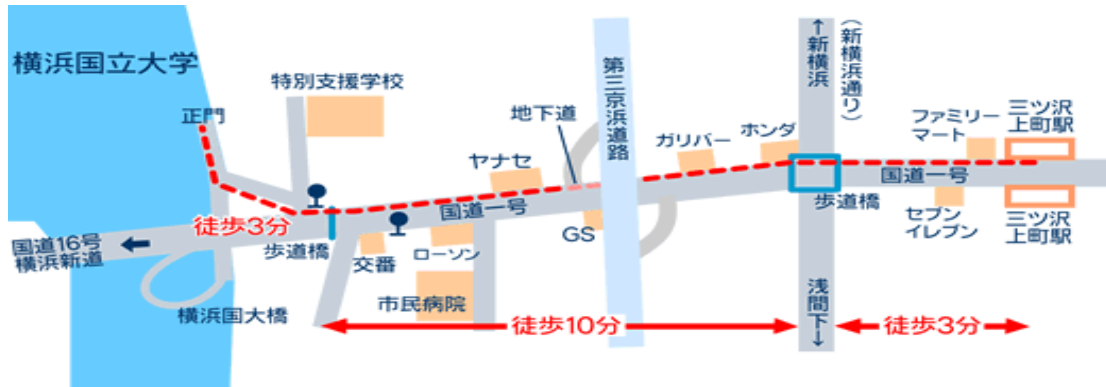
TEL：045-331-5217

ホムページ： <http://www.ynu-coop.jp/>（横浜国立大学生協ホームページ）

# 交通案内図

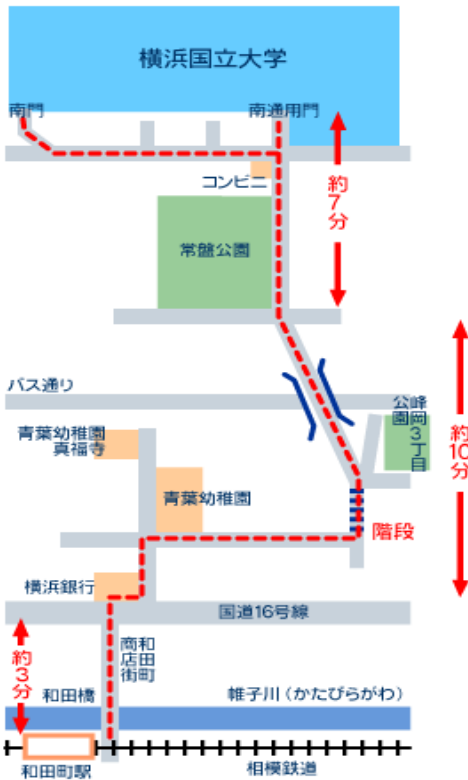
## 横浜市営地下鉄線

【三ツ沢上町駅】(改札を出て右側2番出口) → 正門へ



## ：相模鉄道線

【和田町駅】 → 南門、南通用門へ



## ：バス

【横浜駅西口】 → 正門、大学構内バス停留所（平日のみ）



横浜市営バス	【下車停留所】
番乗口 循環外回り 202 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
番乗口 【急行】 329 系統「横浜駅西口行」	「岡沢町」
番乗口 循環内回り 201 系統「横浜駅西口行」	又は
相鉄バス	「国大北(平日のみ)」
番乗口 浜 10 系統「横浜駅西口行」	「国大西(平日のみ)」
番乗口 浜 5 系統「交通裁判所経由横浜駅西口行」	
神奈中バス	
番乗口 01 系統「中山駅行」	「岡沢町」

「国大北」・「国大西」は、大学構内のバス停留所です。(平日のみ利用可能)

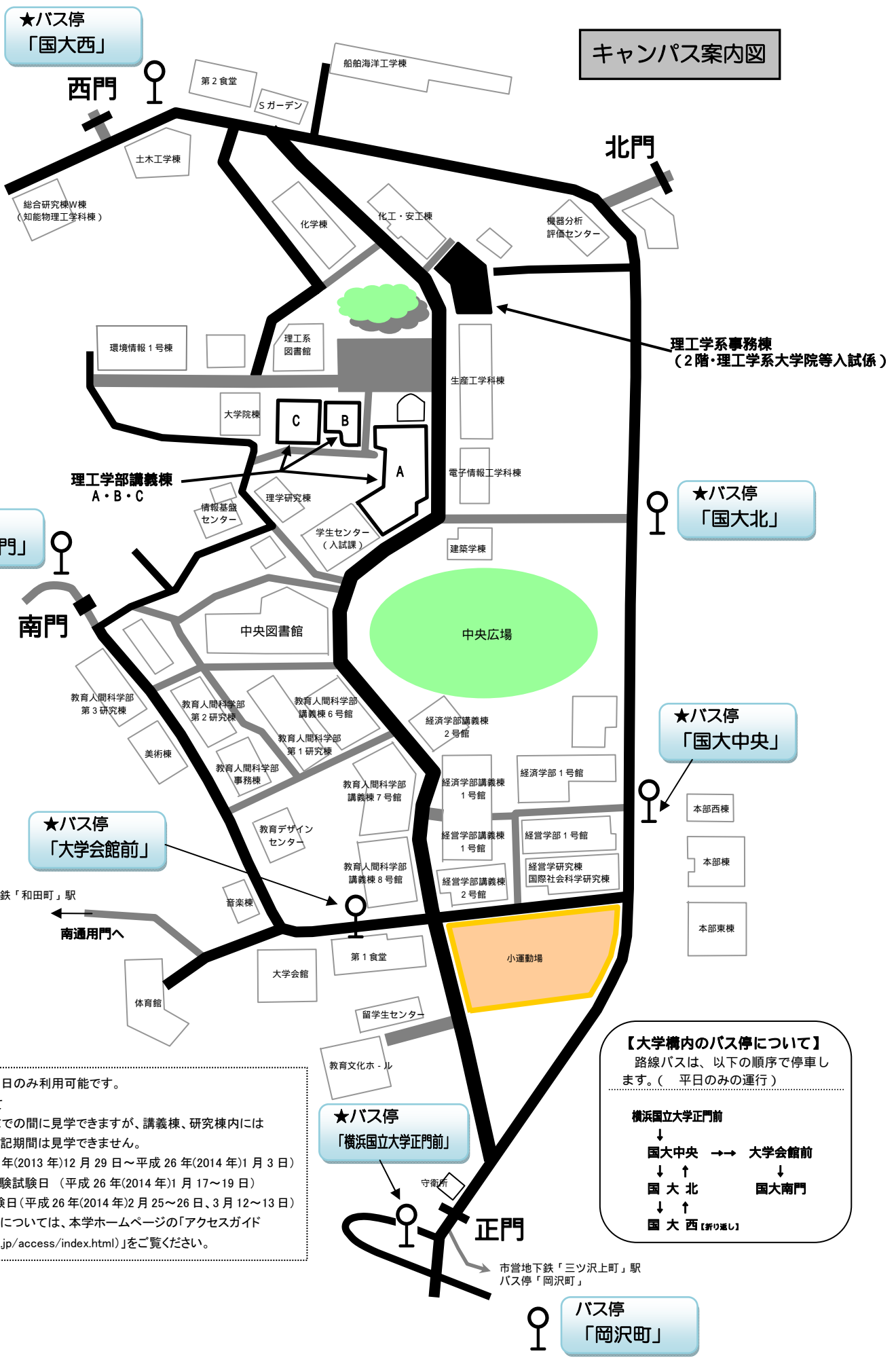
注 1 各バスの時刻等は、横浜市交通局、相鉄バスまたは神奈中バスのホームページ等により各自で確認してください。

注 2 横浜市営バス「201 系統・329 系統」及び相鉄バス「浜 10 系統」は、平日のみ大学構内への乗り入れを行います。

注 3 上記のバス案内には、運行本数が少ない路線や土曜休日は運行しない路線もありますので注意してください。

注 4 バスは、道路混雑等で予定どおり運行できないことがありますので、試験当日は 又は による徒歩を奨励します。

# キャンパス案内図



理工学系事務棟  
(2階・理工学系大学院等入試係)

★バス停  
「国大北」

★バス停  
「国大中央」



**【大学構内のバス停について】**  
路線バスは、以下の順序で停車します。(平日のみの運行)

```

    横浜国立大学正門前
    ↓
    国大中央 →→→ 学生会館前
    ↓ ↑
    国大北           国大南門
    ↓ ↑
    国大西【折り返し】
  
```

※★印のバス停は、平日のみ利用可能です。  
 ※構内の見学について  
 構内は9時～17時までの間に見学できますが、講義棟、研究棟内には入れません。また、下記期間は見学できません。  
 ・年末年始 (平成25年(2013年)12月29日～平成26年(2014年)1月3日)  
 ・大学入試センター試験試験日 (平成26年(2014年)1月17～19日)  
 ・個別学力検査等試験日 (平成26年(2014年)2月25～26日、3月12～13日)  
 ※アクセス方法の詳細については、本学ホームページの「アクセスガイド」(<http://www.ynu.ac.jp/access/index.html>)をご覧ください。

★バス停  
「横浜国立大学正門前」

バス停  
「岡沢町」

## 不測の事態が生じた場合における本学からの情報提供について

公共交通機関の乱れや自然災害の影響などにより、所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態が生じた場合は、以下のWEBサイトにてお知らせします。

なお、これらの不測の事態が生じた場合は、試験日程や入学者選抜方法を変更した上で、入学者の選抜を行うことがあります。

- ・ 横浜国立大学 ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/>
- ・ 横浜国立大学 携帯電話サイト <http://daigaku.jc.jp/ynu/>
- ・ 横浜国立大学 携帯電話対応ホームページ <http://www.ynu.ac.jp/i/>



< お問い合わせ先 >

**横浜国立大学理工学系大学院等入試係**

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5

〔窓口取扱時間〕 8:30 ~ 12:45, 13:45 ~ 17:00 (平日)

土日・祝日及び年末年始(12/29~1/3)は休業です。

TEL : 045-339-3821, 3822

FAX : 045-339-3819

E-mail : ses.nyushi@ynu.ac.jp

(注) 電話でのお問い合わせの際は、上記窓口取扱時間内に  
原則として志願者本人が問い合わせてください。